

創造

JA いけだ
CREATION

今月号の表紙写真は7月12日に
農産センターにて行われた、豊穰・
安全操業祈願祭の様子です。詳細
は9ページをご覧ください。



CONTENTS

- ※新規就農者激励状伝達式
- ※フレッシュ農業人を励ますつと
- ※女性部道外研修旅行
- ※21NEWSアラカルト
- ※シリーズ協同組合と報徳
- ※金融共済課より
- ※JA²MP
- ※畜産部通信
- ※未来人
- ※今月の1枚
- ※理事会の動き
- ※編集後記

2016.

8
AUGUST

No.080

新規就農者激励状伝達式

～今年度は5名が就農～

平成28年度の新規就農者に対する激励状伝達式が、6月23日（木）に行われました。

これは、北海道の農業を・農村を担う一員として、農業に意欲を持って取り組むことを期待し、JAグループ北海道5連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と、当JAからお祝いを贈呈しているものです。

今年度は、東台地区・梅村信輔さん、恵美さん夫婦、清見地区・小野田麻椰さん、千代田地区・原誠さん、青山地区・前田宗里さん（五十音順）の5名の自宅に、鈴木組合長が訪れ激励状と記念品を贈りました。

- | | | |
|------------|-----------|------|
| ① 営農形態 | ② 生年月日・年齢 | ③ 趣味 |
| ④ 就農を決めた理由 | ⑤ 今後の目標 | |



東台地区 ^{うめむらしんすけ} 梅村信輔さん・^{めぐみ} 恵美さん 夫婦

- ① 畑作
- ② 平成元年6月5日 27歳
- ③ カラオケ・映画鑑賞
- ④ 以前勤めていた仕事だと子供との時間を作ることが出来なかったので、嫁の実家で働くことにした。
- ⑤ 早く一人前になってなんでも任せられるようになること。

※ 自己紹介は信輔さんの内容となっております

清見地区 ^{おのだまや} 小野田麻椰さん

- ① 畑作・畜産
- ② 平成4年12月31日 23歳
- ③ 読書・音楽鑑賞
- ④ 牛が好きで、実家の存続も兼ねて就農を決めた。
- ⑤ 子牛の育成を主に行っているのので、育成技術を磨き、健康な牛をつくる。





千代田地区

はら
原まこと
誠さん

- ① 畑作
- ② 昭和58年5月23日 33歳
- ③ 野球観戦
- ④ 子供の頃から家業を継ごうと思っていたため。
- ⑤ 品質の良い作物を作り、多収を目指す。

 青山地区 まえだむねさと
前田宗里さん

- ① 畜産
- ② 平成7年5月1日 21歳
- ③ ドライブ
- ④ 小さい時から父の手伝いをしていて、この仕事をしたいと思っていたから。
- ⑤ 好きな事も嫌いな事もコツコツ頑張る。お嫁さんを見つける。



「平成28年度フレッシュ農業人を励ますつどい」が開催される



7月6日（水）池田町内の新規就農者6名を迎え、「平成28年度フレッシュ農業人を励ますつどい」が、味の香味屋にて開催されました。池田町・池田農協・高島農協・各関係機関の代表者が出席されました。

はじめに、各関係機関より新規就農者へ激励の挨拶が行われました。勝井町長の挨拶では、「聞くは一時の恥。分からないことを分からないままにし

ないで、積極的に周りコミュニケーションをとって欲しい！」と新規就農者へアドバイスされました。千代田地区・原誠さんの挨拶では、「まだまだ、分からないことばかりですが、精一杯頑張りますので、ご指導の程宜しくをお願いします。」と話されていました。

次に、指導農業主の方々より新規就農者へ記念品が贈呈され、最後に、皆さんでお食事を楽しみながら親睦を深め、フレッシュ農業人を励ますつどいは幕を閉じました。

（記事・営農部営農課 杉山淳史）

女性部道外研修旅行

6月19日～22日にかけて、女性部道外研修旅行が行われ、部員13名の参加のもと、東北・関東方面へ向かいました。

1日目 宮城県 仙台・松島

仙台空港に降り立ち、松島を観光。笹かまぼこの工場を見学した後に試食をさせてもらいました。牛タンやゆず、トマト味といった珍しい種類のかまぼこがたくさんあって、皆さんお



株柏屋にて薄皮饅頭を頂く部員の方々

土産にと購入しました。次に青葉城址へ向かい、伊達政宗の銅像をバックに記念撮影をし、人気のずんだシェイクを買って、おいしくいただきました。

2日目 宮城県 南三陸町

2日目には、J A南三陸女性部との交流事業として、9名の方に参加していただき、震災があつたときの状況から今に至るまでの話を聞いてきました。

「地震が起きてから津波が来るまでがとても速く、逃げる余裕も無かった。」多くの方が亡くなり、未だ行方不明者もいる中、「自分たちだけ残ってしまった」という思いもあったと言つ。それでも各地区の地域住民で炊き出しなどを行いながら、お互いの安否を気遣い、全国から励ましの言葉と支

援をいただいて少しずつ前向きな気持ちになったと言います。仮設住宅で住み慣れた町を離れ、部員も減少してしまいましたが、徐々に農業や女性部活動も再開し、「復興へと頑張っている」と話してくれました。

3日目 福島県 郡山市

福島県へと移り、3日目には当J Aの取引先でもある、(株)柏屋にて工場見学をさせてもらいました。工場に入る前にはブラシでの手洗いや衣服にホコリが無いよう機械で吸い取り、マスクなどで覆われて目だけ出ているような格好で中に入ります。工場内には、製品にホコリが入らないように透明なビニールシートのカーテンが施されていて衛生面が徹底されていました。

嘉永五年から今年で創業

165年になる(株)柏屋の薄皮饅頭ですが、最初は薄皮包みが上手いかわず、幾度も失敗を重ねたようです。

お客様に、わざわざ遠回りしてでも食べたいと思ってもらえるような饅頭を、「どうして

も作りたい!」という思いで、薄い生地に餡がぎっしり詰まった、舌触りが良く甘さも丁度良い饅頭が完成しました。よりお客様に満足してもらえる饅頭にするには、と考えたとき「まごころで包むから喜んでもらえるんだ。」そういう想いを込めて作っていると話してくれました。

材料も「良いものだけ」と、こだわりの持っている、池田の小豆を選んでいただいている感謝の気持ちと、饅頭づくりへの熱意に胸を打たれ、今後の生産意欲に力が湧きました。

4日目 東京都

翌日にはスカイツリーにも登りました。期間限定でウルトラマンシリーズ放送開始50年記念のイベントが開催されていて、ウルトラマンの模型と記念撮影をしたり、館内に設置されたスタンプラリーを集めたりと、中には童心に返ったようにしゃべり姿も見られ、本当に楽しい旅行となりました。

(記事・宮城部宮農課 豊原英梨)



江戸屋形船での集合写真



現地研修会の様子

指導チーム

てん菜栽培
現地研修会開催

7月8日（金）に指導チームの新たな取り組みとして、てん菜栽培現地研修会を、池田町内3圃場にて開催いたしました。講師に北海道糖業原料課の荒氏をお招きし、多くの組合員の皆様

方に参加頂きました。

平成28年産てん菜は、直播てん菜の風害があり、除草剤・病害虫防除について例年より難しい管理作業となっております。研修会の中では、6月の長雨によって例年よりも根腐れ、黒根病の発病が懸念される為、防除の徹底をお願い致しました。

研修に参加して頂いた千代田地区の中村俊夫さんは、「どの時期にどの農薬を使うと良いのか知ることができ、勉強になった。」と話して頂きました。

研修会開催に際し、快く圃場を提供いただきました組合員の皆様、研修会に参加頂きました組合員の皆様、誠にありがとうございました。

今後、指導チームでは青果、馬鈴薯の現地研修会を計画しておりますので、多くのご参加を宜しくお願い致します。

（記事・農産部農産課 岡田雄貴）

食品加工サークル

食品加工サークル
視察研修

7月14日（木）に食品加工サークルの視察研修を12名にて、浦幌フリーズドライ工場の見学を行いました。

フリーズドライとは、原料を凍結させて真空下でじっくり乾燥させる方法

です。一般的には、氷（個体）→水（液体）→水蒸気（気体）の3段階で乾燥に至りますが、この方法は、氷（個体）→水蒸気（気体）へと、水分が昇華する原理を用いています。この工場では、90～100種類の製品を扱っており、マイナス30℃で凍結させていきます。実際にフリーズドライされた野沢菜や鮭のフレークを試食させてもらいましたが、白いご飯が欲しくなるほど美味しかったです。

昼食は上士幌町にある「t o b a c h i」（トバチ）で食事を取りました。ここは、東居辺小学校の跡地で、外観や手洗い場はそのまま残されており、食事スペースだけ改装して、とてもきれいな空間へと様変わりしていました。食事のあとは、同町内のしんむら牧場でデザートを食べながら、無事帰路につきました。

（記事・営農部営農課 豊原英梨）



凍結した原料を真空し、乾燥させる機械

年金友の会

年金友の会 親睦旅行

年金友の会では7月11日から13日にかけて、函館方面への親睦旅行を行いました。参加者は28名と少なかったものの3日間とも好天に恵まれ、長旅ではありましたが大変有意義な旅行となりました。

1日目、池田を出発し一気に函館市まで行き、函館に着くと早速五稜郭タワーに上り函館市の眺望を楽しんだ後、北島三郎記念館を見学しました。夜はあまりの人の多さに驚きつつも函館山から100万ドルの夜景を堪能しました。

2日目、函館朝市で買い物をし、福島町にある「横綱千代の山・千代の富士記念館」を訪れ、千代の富士の実姉さんから館内の説明を受けた後江差町に向かい、江差追分分館で第13回江差追分全国大会優勝者であり江差追分正師匠でもある清水勲氏より江差追分他民謡を2曲披露していただき、宿泊先である洞爺湖温泉に向かいました。洞爺湖温泉ではカラオケ大会、ビンゴゲームなどを行い大いに盛り上がりしました。

3日目は、壮瞥町でサクランボ狩りを行い、虎杖浜での買い物と昼食を楽しんだ後、最後に「ゆにガーデン」を見学し池田への帰路につきました。

途中これといったトラブルもなく、参加者の皆さんは長旅でやや疲れ気味ではありましたが、持ちきれないほどのお土産を抱えながら家路につかれました。参加者の皆様大変お疲れ様でした。

(記事・営農部営農課 高山信雄)



「横綱千代の山・千代の富士記念館」で、千代の富士のお姉さん(左から2人目)より館内説明を受けている様子

元横綱の千代の富士・九重親方は平成28年7月31日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

集合写真



青年部

青年部 夏期研修

7月15日(金)に平成28年度の青年部夏季研修が行われました。今回の夏季研修では、超音波を利用した操舵システムについて芽室町にあるロールクリエイイト社にて説明及び、実際に超音波を利用し

た操舵システムの運行をしていただきました。

超音波を利用した操舵システムにより運転手がトラクターのハンドルを握らなくても、対象となるものに沿ってトラクターのハンドルが自動で動作し、この技術を利用してビートの移植やカルチなど様々な作業に利用している方がいるそうです。

現在超音波技術やそのほかGPSなどによる自動操舵、トラクターの無人化など様々な技術が開発され、今後の農業において熟練の技術を必要としない時代に突入している事を実際に動くトラクターを見て非常に強く感じ、今回のロールクリエイイト社での研修を終えました。

その後の懇親会では、今の作物の状況など様々な情報を交換させていただき、非常に勉強をさせてもらった1日となりました。

(記事・青年部員 美濃志拓)

にんにく収穫の様子



にんにく部会

にんにく 収穫開始

本年度もにんにくの香りが立つ時期が参りました。平成27年9月に植付けしたにんにくの収穫が、6月28日より川合地区から開始しました。

当JAの生産者戸数は、前年と変わらず11戸で作付面積は、販売圃・種子増殖圃合わせて212aです。本年度は、越冬状況もよく雪解けも順調に生育が進んでおりました。6月の低温・長雨で若干肥大に影響しましたが、昨年よりは大き玉傾向になりました。

前年度から引続き、JA十勝清水町と連携し、乾燥・加工・販売を行っております。

本年度から一部自家乾燥を行っている生産者がおり、総収量・平均反収は現時点でまだ出ておりませんが、今後分かり次第、広報で報告致します。

今後は、9月下旬の植付け作業に向けて、増殖用種子の購入、リン片割り、圃場準備と行って参ります。にんにく栽培に興味がある方はお気軽に農産課までご連絡ください。

(記事・農産部農産課 鈴木耕一郎)

玉ねぎ部会

玉ねぎ部会 道内視察研修

玉ねぎ部会では、6月16日から17日にかけて、道内視察研修を開催致しました。

本研修は、毎年開催しており収量、品質の向上を目的に行っているものです。

本年度は、北見農業試験場とJAびほろの生産者様、美幌町にある株式会社大井機販を視察して参りました。1日目の、北見農業試験場では、病害虫の防除のタイミング、病状について学び、今後に生かせる内容になりました。

2日目は、JAびほろの生産者圃場と株式会社大井機販を視察して参りました。生憎の雨でしたが、短い時間の中で、生育状況・美幌地区での栽培体系などを詳しく説明していただき、生産者の皆様は真剣に耳を傾けておりました。

最後に参加して頂いた部会員及びご家族の皆様のご協力により無事に視察研修を終えることができました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。(記事・農産部農産課 鈴木耕一郎)

北見農業試験場視察の様子



青 年 部

池田町2JA女性交流会を開催

6月17日、帯広市内にて池田町2JA女性交流会（農コン）が行われました。今回は当青年部が担当ということで役員等が準備を進め当日を迎えました。1次会場のインザスイートでは、少ない参加者を感じさせない盛り上げりをみせていました。2次会場のレストランテカフェ ベーネでは1次会の盛り上げりをそのままに、さらにお互いの距離感を縮めていたように思えます。

今回の交流会では3組のカップルが成立となりましたが、カップル成立でイベントが成功したとは思っていません。毎年カップルが成立していることは事実ではありますが、その先が発展していないことも事実であります。私たち役員ができることは出会いの場を提供することです。その後の発展を祈りながら、冬の交流会に向けてまた企画を練っていききたいと思います。

（記事・青年部書記長 林 雅嵩）

喜びとしての働き

勤労とは

尊徳が説く

尊徳が勤労の尊さを一生懸命に説いたのは、物を生産しそれを大切に消費することによって、人々が豊になり村々が発展することを願ったことでした。また働きかたも牛馬のようにガムシヤラに働いたり、昼夜を問わず疲れた体にムチ打って働いたり、損得勘定で働くのではなく、全てのものに潜んでいる徳（長所、とりえ）を引き出すために、人間としての欲求や楽しみも満たしながら、喜びとしての働きこそが、勤労であると説いています。

シリーズ
協同組合と報徳

No.23

働くということは誰しも若干の苦痛を感じるものです。

しかし、日本人であれば働くことに苦痛ばかりでなく、喜びも感じているはずで、さらに付け加えますと、たぶん仕事をしないということに対しては、苦痛を感じるのではないのでしょうか。それは勤労に人生の意義を見出しているからなのです。

職業の尊さ

勤労は仕事のやり方を、常に工夫・改善することによって高められるし、技能を磨くことよってより良質に、より能率的に仕上げる事ができます。そのためには、各人がそれぞれの職業に専念することが必要なのです。

尊徳は農業には田畑の徳、

作物の徳、それに農民の徳が一元融合して米、麦などを生み、全ての人命を養う基本的な職業であると説き、農民には誇りを持たせ、勤労を勧めたのです。

同じように魚介類が欲しい時に手に入るのは漁業の徳であり、商業の徳・大工の徳・お役人の徳など、人間社会の正当な職業はみな一元融合し、「売って喜び、買って喜び」あるいは「貸して喜び、借りて喜び」ように、それぞれが世の中の役に立っているものです。

従って、人々はそれぞれの職業の尊さを自覚して、一杯の働きをするのが勤労であると、尊徳は説いています。

（北海道報徳情報・

報徳生活読本）

施設課

今年も豊穣と 安全操業の 願いを込めて ～豊穣・安全操業祈願祭～

去る7月12日、農産センターH14年工場荷受ホッパー前にて「豊穣・安全操業祈願祭」が執り行われました。組合長をはじめ、小麦集団長会議代表、役職員総勢29名にて農産物の豊穣と収穫・調製作業の安全を祈願致しました。

農産センターでは、安全操業を実施するにあたり、講習会の開催や安全スローガンの垂れ幕を掲げ、5S活動にも重点を置き、0災害を継続すべく日々努力をしております。

今後、農産物の受入・搬入が最盛期となってまいりますので、搬入される組合員の皆様も農産センター構内での安全走行・安全作業に御協力をお願い致します。

(記事・農産部施設課 佐藤尚弘)



祈願祭の様子

金融共済課より

共済掛金払込証明書の 契約者直送について

日頃、JA共済事業につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆さまに発送いたしております「共済契約案内帳票」について、現在、JA本所および池田支所からではなく全共連より直接送付されております。

また、本年より税申告に使用する「課税所得控除共済掛金払込証明書」につきましても、使用時期には早いですが9～10月頃契約者の皆さまに直送予定となっておりますので、ご利用までの間、保管には十分留意願います。

契約状況により、かなりの枚数が一度に直送される方もありますが、管理について宜しく願いいたします。

JA共済といたしましては、全国的に発生している不祥事等を未然に防止するために今回の対策を講じさせていただきましたので、ご理解を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。何かご不明な点等ございましたら金融部金融共済課または池田支所へお問い合わせください。

※池田町農民同盟を利用して税務申告を行っている方につきましては、払込証明書到着後すみやかに農民同盟へご提出してください。

金融共済課より

JAバンク JA女性部 (フレッシュミス・こだま会) 会員限定

女性部貯金

農業と家庭で活躍する女性を支えます。

ますます貯めやすくなる3つのお得な貯金。

① 女性部の活動を応援！

皆様へお支払いした貯金利息相当額を活動費として助成。
(毎年2月支払女性部貯金全口座貯金利息の相当額を女性部へ助成。)

② 生活を豊かに！

スーパー定期貯金(300万円未満)1年もの2倍金利。

③ 毎年「JA女性部手帳」をプレゼント！

※金利情勢により商品を見直すこともあります。ご了承ください。

詳しくは、店頭でご確認ください。(貯金規定、商品概要説明書をご参照下さい。)

JA十勝池田町
金 融 部



JA²MP 無料配信スタート!

農業イベントや関連施設のチェックインスポットラリー、
直売所から発信するオススメ農畜産物情報など、
JAグループ北海道ならではの、おトクなコンテンツが満載です!

食と農の
おトクな情報に
ジャンプ!

JAグループ北海道の
スマホアプリ。

チェックインスポットラリー

農業イベントで、
ポイントを貯めよう!

季節の農業イベントや、全国各地に多数あるJAグループ北海道の関連施設(直売所、ガソリンスタンド、JAバンクATM、医療施設、Aコープ等)にチェックインすると、ポイントが貯まる!週末などにお出かけの際は、近くのチェックインスポットを探すこともできる、便利で楽しいポイントラリーです。ポイントを集めると、豪華な農産物が当たるプレゼント抽選会に応募できます。



オススメ農畜産物情報

直売所からの、
とれたて情報をゲット!

全国各地にあるJAの直売所から、旬の野菜、地域自産の特産品などの情報をタイムリーに発信!お出かけ先近くの直売所で何が売られているかも、簡単にチェックできます。中には、そこでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物も一足先に、直売所までのルートもすぐにナビゲート!



今月の特集

テーマによって、食と農に関するおトクな情報や、季節の美しい農業イベントなどを決まるとご紹介!毎月更新していく予定ですので楽しみに!

お知らせ

食と農に関する耳よりなニュースも、各JAグループ北海道からお届けします。

ダウンロードは
コチラ

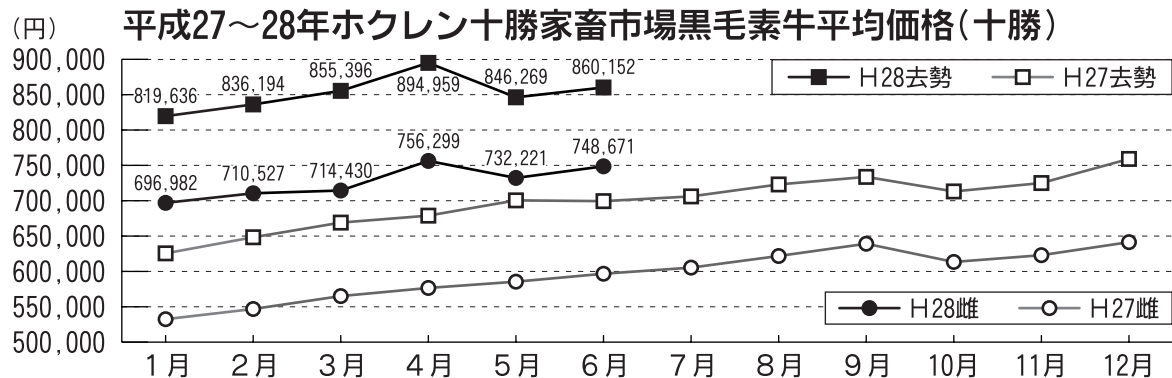


●制作環境: iOS 8以降、Android OS 4.4以降を推奨、※OSのバージョン、機種により正しく表示されない場合があります。 ●本誌は市場予告なく変更となる場合がございます。
●Android: [Google Play] (© Google Inc.) のアプリまたは登録商標です。 ●iPhone: [App Store] (© Apple Inc.) のアプリまたは登録商標です。 ●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかります。 ※本アプリのバージョンアップの際は本アプリが正常に動作しないことにより再設定などが必要となる場合があります。

※画像はイメージです。



畜産部通信 畜産部 畜産課



6月黒毛素牛出荷区分別成績

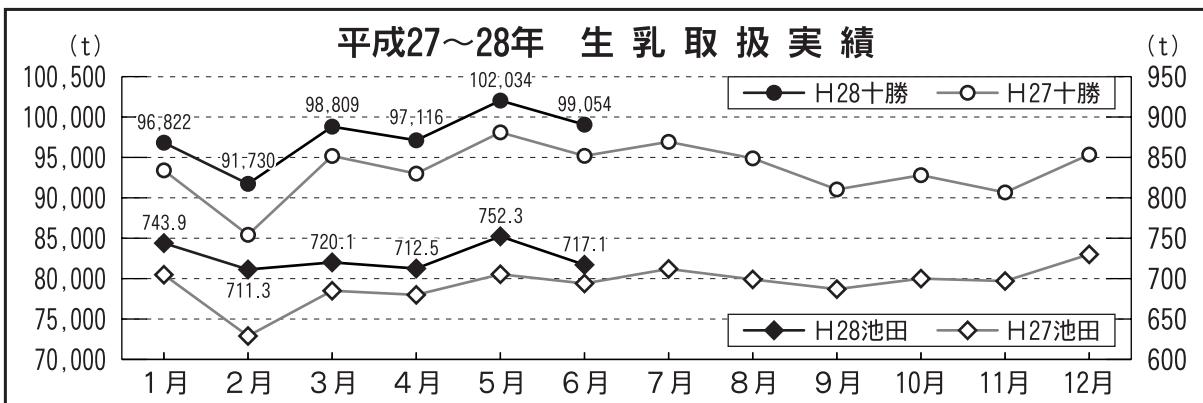
【金額(円)】

			取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	十勝	和牛素牛	749	860,152	
		マニユアル参加牛	470	866,404	62.8
		マニユアル認定牛	77	926,472	16.4
	池田	和牛素牛	56	841,185	
		マニユアル参加牛	49	829,374	87.5
		マニユアル認定牛	10	882,144	20.4
雌	十勝	和牛素牛	462	748,671	
		マニユアル参加牛	282	747,762	61.0
		マニユアル認定牛	19	828,815	6.7
	池田	和牛素牛	41	706,688	
		マニユアル参加牛	38	702,568	92.7
		マニユアル認定牛	0	0	0.0

6月ホクレン十勝枝肉市場【金額(円)】

【金額(円)】 6月ホクレン十勝枝肉市場【金額(円)】

開催日	区 分	取引頭数	平均価格(税込)
11日	黒毛去勢	A－5	2,482
		A－4	2,403
		A－3	2,263
	黒毛メス	A－5	2,474
		A－4	2,327
		A－3	2,251
	F 1 去勢	B－3	1,506
		B－2	1,370
	F 1 メス	B－3	1,484
B－2		1,386	



6月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区 分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳 牛 育 成	346	435,686
7日	乳 牛 初 妊	461	719,873
	乳 牛 経 産	64	412,256

6月十勝中央家畜市場【金額(円)】

【金額(円)】 6月十勝中央家畜市場 【金額(円)】

区 分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	138,481
F 1 オス初生	294,969
F 1 メス初生	203,634
廃 用 牛	216,946



川合地区
美濃志拓さん
(30歳)



プロフィール

家族は妻・弥緒さん、長女・沙来ちゃん(8歳)、
長男・志導くん(5歳)、次女・朝月ちゃん(0歳)、
父・廣田さん、母・久代さん。

池田高校を卒業後、網走にある東京農業大学に進学したのち就農。今年で就農9年目。昨年、(株)美濃農場の代表取締役役に就任する。

「休

みの日は子供達と遊んでいます。ただ、

最近の子供達が元気良すぎて遊ぶのも大変です。」と笑顔を見せてくれたのは、昨年、(株)美濃農場の代表取締役役に就任した志拓さん。妻・弥緒さんとは就農後に出会い結婚。現在は3児のパパである。

小さい頃から農作業を手伝い、父・廣田さんの働く姿を見てきた志拓さん。

「農業は大変そうだな。と言う思いがあり、就農しようとは考えていませんでした。」と当時を振り返る。就農を決めたのは大学生の頃で、「両親に大学に通わせてもらい、農業の勉強をしていく中で決めました。」と話す。

現在は父・廣田さんと母・久代さんと社員2名で畑作を営む。父・廣田さんが防除・社員の指導を担当し、志拓さんが農作業全般・会社の管理を行っている。農業の大変な事を聞くと、

「去年が上手くいったとしても、同じやり方で今年も成功するとは限らない。天候に左右されやすく、1年ごとに作業内容が変わってしまつのが農業の難しい所。」と語る。

就

農してから今年で9年目となる志拓さん。就農当時と今の自分を比較し

てもらった、「就農当時はあまり感じなかったのですが、最近では収穫が終わるまで毎日が不安です。」去年から代表取締役役に就任したこともあり、「少しは責任感が出てきたのかな？」と苦笑い。

(株)美濃農場では、全体の6〜7割程の圃場で玉ねぎを作付している。全て移植で、3月頃に播種を行いハウスで管理し、4月末〜5月上旬で移植する。発芽後のハウス内の温度管理がとても重要とのこと。過去に温度管理で失敗してしまつたことがあるそうで、現在は「慎重に、そして注意深

く作物を観察して管理しています。」

青

年部には就農1年目から入部し、過去には支部長を務める。「青年部の後輩達と話していると、

農業への取り組み姿勢や考えをしっかりと持っていてすごい!と感心します。後輩から学ぶことも数多くありますね。」と話す。

最

後に今後の意気込みを聞くと、「効率良く・品質良く・美味しい物を作っ

ていけるよう努力していきたい。」また「社員が働きやすい環境を作っていくたい。」と話してくれた。



理事会の動き

第 5 回

〈平成28年7月25日〉

★ 報告事項 ★

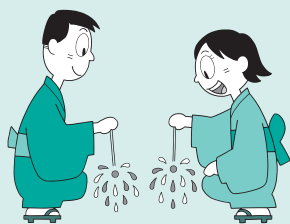
- (1) 組合員の加入・脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 6月末仮決算について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 平成28年度組合員経営実績について
- (6) 農産物の生育状況について
- (7) 平成28年度目標管理制度の各部目標及び中間面接結果について

★ 議 案 ★

- (1) 畜産収益力向上緊急支援リース事業による機械取得並びに転貸について
- (2) 固定資産の取得について
- (3) 池田町農民同盟に対する分担金の拠出について
- (4) 理事に対する資金の貸付について

★ 協 議 案 ★

- (1) お盆休業について
- (2) 地区懇談会までの日程について



今月の1枚



熊を駆除して一安心！

今月の1枚は、7月10日に富岡地区にある稲毛康晴さんの圃場で熊が発見され、猟友会のハンターにより駆除した際に撮られた写真です。推定3～4才のオスで、体重が150kgを超えているのでは!?とのこととです。

稲毛さんは、「駆除される2、3日前、圃場に熊の痕跡があり不安でしたが、猟友会のおかげで安心して作業ができます。」と感謝していました。

最近、「ポケモンGO」というアプリが全世界で大人気!」というニュースが連日放送されていました。7月下旬に日本でも配信が開始され、日本列島が大賑わいしています。このアプリは外に出てポケモンと呼ばれるモンスターを捕まえるゲームで、引きこもりの人たちを外に出してしまいう程、人気があるとのこととです。私もやってみましたが、結構面白いですね。

そんな中JAグループでも「JA.M.P.L」というアプリが無料配信されました。JAグループ北海道の関連施設に設置されたチェックインスポットを巡りポイントを集めて、豪華景品が当たるプレゼント抽選会に応募できる仕組みとなっております。他にも各JAの情報が掲載されていますので、是非アプリをダウンロードしてみてください。

(杉山)

